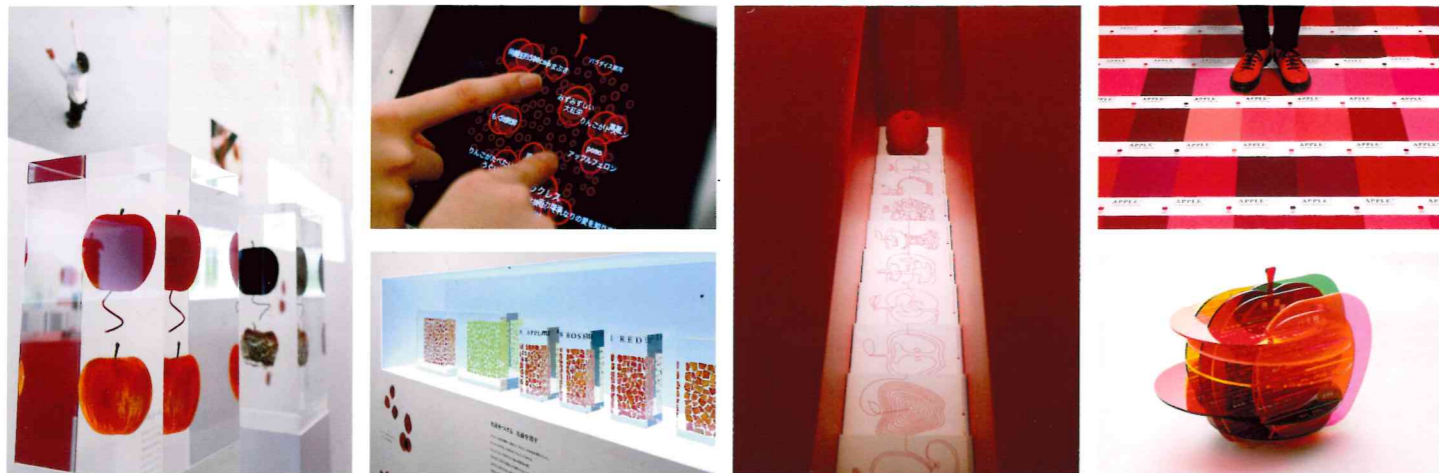




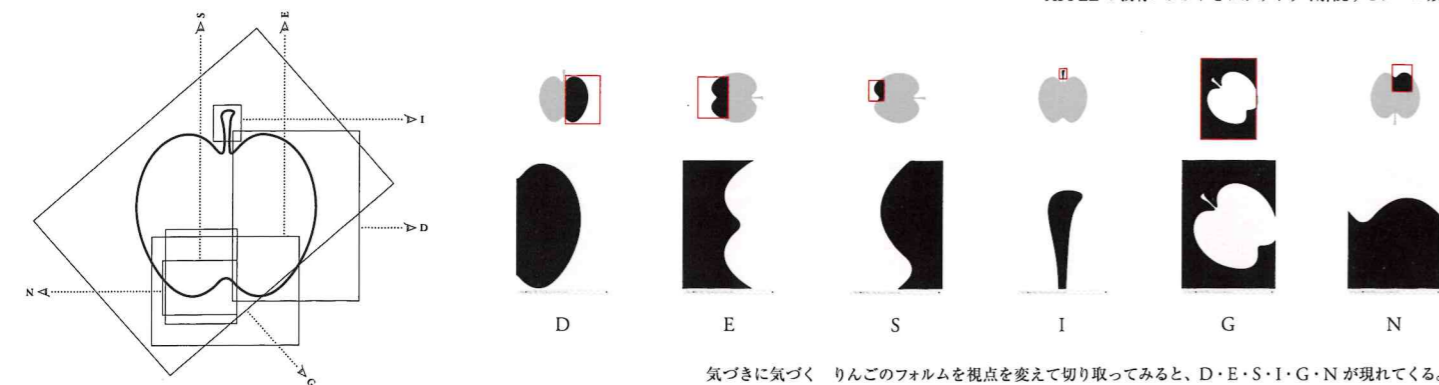
大阪芸術大学 芸術情報センター3F 図書館内に併設された「りんごデザイン研究所」



APPLEの講演や企画展示などをする研究所



APPLEの教育メソッドをわかりやすく解説するツール類



気づきに気づく りんごのフォルムを視点を変えて切り取ってみると、D・E・S・I・G・Nが現れてくる。



APPLE Learning to Design, Designing to Learn  
詳しい内容は書籍を通してご覧いただくことができます。

英語版 [Lars Müller Publishers] ISBN 978-3-03778-386-3  
中国語版 [上海人民美術出版社] ISBN 978-7-5586-0542-0  
日本語版 [CCC Media House] ISBN 978-4-484-17234-7  
韓国語版 [Design SOHO] ISBN 978-89-92681-26-1



大阪芸術大学 デザイン学科 教授 **三木 健** [グラフィックデザイナー]

1955年神戸生まれ。1982年三木健デザイン事務所設立。話すようにデザインを進める「話すデザイン」と、モノやコトの根源を探る「聞くデザイン」で、物語性のあるデザインを展開。「気づきに気づく」をテーマに、静かな表現の中にエモーショナルなコミュニケーションを潜ませる仕事の特徴的。近年、学びをデザインするプロジェクトAPPLEを展開。そのユニークな教育メソッドに注目が集まり、英・中・日・韓の4カ国で書籍APPLEが上梓される。2015年から国内外の美術館、ギャラリーでAPPLE+展を巡回。それら一連の教育プロジェクトを背景にもつポスターで第18回亀倉雄策賞を受賞。2018年春、大阪芸術大学図書館内にAPPLEの常設展示室と教室を併設した「りんごデザイン研究所」が開設される。大阪芸術大学教授。http://ken-miki.net

動画サイトでAPPLEの講演の映像を公開しています。 YouTube <http://youtu.be/I-5noogmZmo>

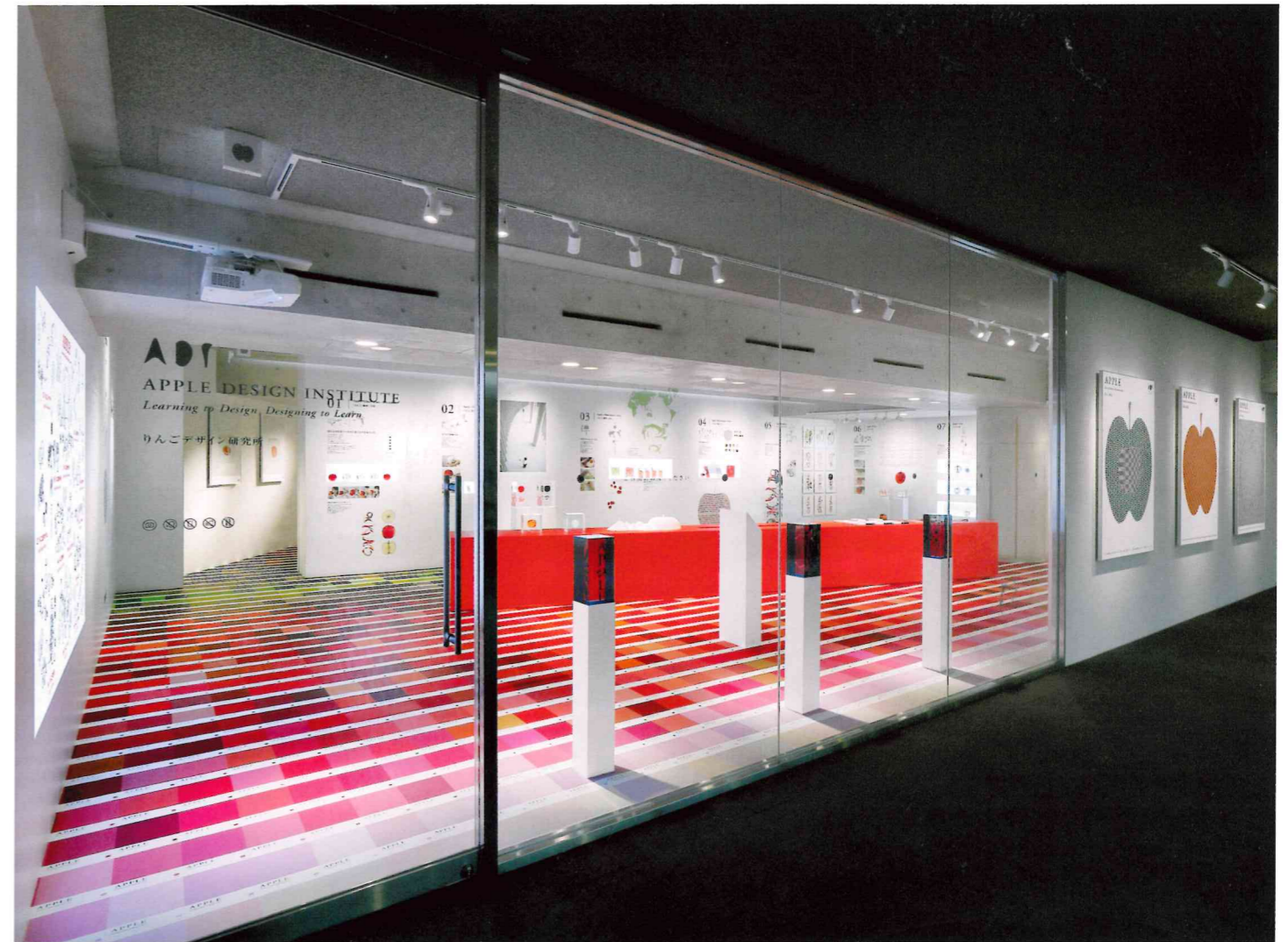
展示作品の解説はこちらのQRコードからご覧ください。



# APPLE

Learning to Design, Designing to Learn

Ken Miki



考え方・作り方・伝え方・学び方

## 気づきに気づくデザインの発想法

いま世界が目目する、大阪芸術大学デザイン学科の授業「APPLE」は、りんごを題材として「デザインとは何か」と問いかける内容。古代ギリシャの哲学者ソクラテスの「無知の知(私は知らないということを知っている)」という言葉の背景に、知覚と認識について考えるものである。テーマを正確に「理解」する。既成概念や偏見に捉われ、物事の理由や原因や意味を正しく知らない人が多い。何となくは知っているが、よくは知らない。知らないことを自覚していない。そこで対象をしっかり「観察」する。源を見つめ、関係性を探り、真実を積み上げていく。続いてその情報を元に目的に応じて立体的に思考を組み立てる。

それが仮説を立てるといふ『想像』の行為。そこでは対象と目的を結ぶ内容に必然性が求められてくる。必然性がなければ『分解』し再構築をする。そして『編集』。独自の視点からコンセプトを導き、明解なコンテンツを立て活動の方針を物語化していく。最後に「可視化」。理念を分かりやすく見える化するをデザインという。この授業は『理解→観察→想像→分解→編集→可視化』の全てのプロセスを通じて『気づきに気づく』構造になっている。インドの独立の父、マハトマ・ガンディーがこんな言葉を残しています。「明日死ぬかのように生きなさい。永遠に生きるかのように学びなさい。」